

信濃川大河津分水 あんなこと！こんなこと！

～かつての雄姿に思いをはせ～

左の写真！何か分かりますか？昭和2(1927)年に倒壊した“自在堰”の堰軸柱跡です。長らく草むらに隠れていたしたが、今、その姿を見せてくれました。

自在堰は、ベアトラップ式という方式で、堰上流部から堰内部に水を取り入れ、その水圧と圧縮空気を送り込むことによって、ゲートを持ち上げ、また、内部の水を排水し、圧縮空気を止めることによって、ゲートを降ろす仕組みです。

大正5(1916)年2月に築造が開始、大正11(1922)年8月に竣工し、8月25日の大河津分水通水を迎えました。

しかし、完成からわずか5年後の昭和2(1927)年6月24日、堰下流の浸食によって、右岸から7番目の橋脚が陥没し、さらに6号・8号橋脚も倒壊しました。

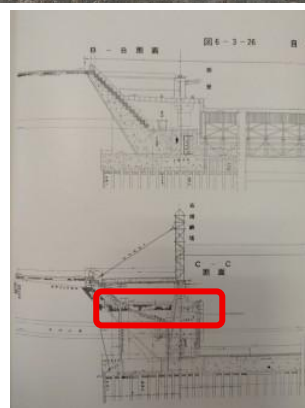
堰倒壊後も、右岸取付部の堰座は残されていましたが、現在の可動堰築造に伴う流心の移動(右岸→中央)による高水敷造成によって埋め立てられ、周辺の雑草の繁茂もあって、長らく私たちの視界からほぼ消えつつありました。

昨年の秋頃、周辺の整正や草刈りがされたことによって、堰座の上面がきれいに姿を見せています。雑草の繁茂により再び姿を消す可能性もあることから、今が見時です。

この機会に、大河津分水が通水した姿に思いをはせ、堤防上から自在堰・旧可動堰の雄姿を眺めてみるのも良いのではないのでしょうか。

(文責：野原 永吉)

参考文献：「信濃川大河津分水誌 第1集・第2集」長岡工事事務所
「郷土の宝」渡部武 著
「大河津分水双書 第6巻」五百川清 著



会議報告 『「NIPPON防災資産」深化を考える会議に参加してー

3月12日に広島市で開催された『NIPPON防災資産』深化を考える会議に参加しました。第2回ということで、全国から優良認定が3団体、認定が当会を含めて3団体の参加でした。

会場の広島市豪雨災害伝承館は平成26年に広島市安佐南区・安佐北区を中心に発生した土石流災害を語り継ぐために設置されたもので、非常食や災害時に必要とする防災用品を備えた避難所としても機能する施設でした。展示物では土石流のCG映像が生々しく強烈なインパクトがありました。また、併設する公園には仮設テント等が設置できるように遊具は置かず、かまどベンチのみが配置されていました。

会議は防災資産選定委員会の佐藤委員長(東北大学准教授)が議事を進められ、国土交通本省より防災資産の位置付けの説明があり、その後、代表事例の紹介として信濃川河川事務所より信濃川大河津資料館と友の会活動が紹介されました。討議では流域治水協議会との連携や今後の取り組みが議論されました。佐藤委員長は新潟市の小学校在学時に資料館を見学されたとのことで、他の団体の参考になるとして小学生の見学会への取り組み状況や友の会の設立経緯などの質問がありました。

(文責：岡村 幸弘)

広島市豪雨災害伝承館



『友の会会員作品展』&ギャラリーカフェ(会員限定)

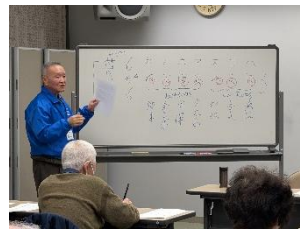
- 【友の会作品展】 ○期間:令和8年1月31日(土)~3月8日(日) 9:00~16:00
 ○会場:信濃川大河津資料館2階企画展示スペース
 ○作品出品者:16名
- 【ギャラリーカフェ】○日時:令和8年2月25日(水)・3月8日(日) 9:00~16:00
 ○会場:信濃川大河津資料館1階・2階多目的ホール
 ○参加者数:2月25日(水)11名・3月8日(日)10名



今年も会員の皆さんにご協力をいただき、多くの作品を展示することができました。冬になると資料館の来館者が少なくなりますが、この作品展を見に来てくださる方も多数いらっしゃいます。昨年と違う作品を出品していただくので、毎年新たな展示を楽しむことができるのも魅力のひとつだと思います。会期中に、会員限定でお茶やコーヒーをふるまうギャラリーカフェを2日間オープンし、世間話をしながら楽しいひと時を過ごしていただきました。

信濃川教養講座 ~筆ペンで書く石碑の碑文講座~

- 日時:令和8年2月28日(土) 13:30~15:00
 ○会場:信濃川大河津資料館2階多目的ホール
 ○参加者数:10名
 ○講師:小田切 俊雄さん(友の会会員)



今年の新たなジャンルの筆ペン講座を開催しました。筆ペンというと堅苦しいと感じる方が多いかと思っていましたが、嬉しいことに定員いっぱいになりました。作品展で書道作品を出品している会員の小田切さんから、資料館近くにある桜の碑の歌を教えてくださいました。草書体で書かれている俳句は、なかなか書きなれない文字でしたが、成り立ちや崩し方を教えてください練習を重ねると、皆さんとても上手にすらすら書いていました。

信濃川教養講座 ~革のカードケース作り~(会員限定)

- 日時:令和8年3月8日(日) 13:30~15:00
 ○会場:信濃川大河津資料館2階多目的ホール
 ○参加者数:10名
 ○講師:中川 圭さん(友の会会員)



昨年の講座では初心者でも簡単に作れる革小物コインケースを作りました。今年はカードケースを教えてくださいました。事前に下準備で糸を通す穴を講師の先生が開けてくださり、参加者の皆さんは縫う工程と仕上げのヤスリと磨きをかける作業をして完成となります。工程と作業はシンプルなので、初めてでも時間内に作ることでできました。最後は先生から特別にイニシャルを刻印していただきました。

大河津分水スタンプラリー

- 期間:令和8年4月4日(土)~19日(日)
 ○会場:信濃川大河津資料館
 にとこみえ~る館
 ○参加者数:120名

オリジナルのチロルチョコを資料館とにとこみえ~る館の2種類をそれぞれの館でスタンプを押すと景品としてプレゼントしました。19日(日)を待たずに、18日(土)で用意したチョコが無くなり終了となりました。



お茶を楽しむ会

- 日時:令和8年4月10日(金)10:00~14:00
 ○会場:信濃川大河津資料館4階展望室
 ○参加者数:100名



例年は土日のどちらかに開催していた『お茶を楽しむ会』を、今年は平日の金曜日に開催しました。桜の開花がちょうど良く、お花見のお客さんがたくさん来てくれるはずでしたが、残念ながらこの日だけ雨になってしまいました。展望室からの眺めもあいにくの景色。人もまばらでしたが、お茶を楽しみき来てくださる方もいらっしゃいました。パタパタとするよりは、ゆっくり静かにお茶とお菓子を楽しんでいただけたと思います。ご協力いただいた、スタッフの皆さんありがとうございました。

第1回ガイド研修

- 日時: 令和7年4月4日(土)
9:30~11:30
- 場所: 信濃川大河津資料館
2階多目的ホール
- 参加者数: 15名

『令和8年度信濃川大河津資料館管理補助業務』を受託契約し、本年度も友の会が来館者の受付・案内・館内管理補助を引き続き実施いたします。第1回目のガイド研修では、新たなメンバーも加わり、改めて業務内容や手順について研修を行いました。その後は会員の小田切さんから『信濃川治水紀功碑について』研究報告をしていただきました。

事務局からのお知らせ

理事・監事の皆様へ

下記日程で監査と理事会を行います。理事・監事の方の出席をお願いします。役員の皆様には別途、文書を送付します。

【監査】◇日時: 令和8年4月30日(木)
10:00~12:00
◇場所: 信濃川大河津資料館2階多目的ホール

【理事会】◇日時: 令和8年5月16日(土)
13:30~15:00
◇場所: 信濃川大河津資料館2階多目的ホール

令和8年度 総会・講演会(会員の皆様へ)

- ◇日時: 令和8年5月23日(土)
 - 年次総会 13:15~14:30
 - 講演会 15:00~16:00
演題『(仮)大河津分水路改修事業
-工事の実施状況について-』
講師 信濃川河川事務所 土屋 修一 事務所長
- ※講演会は一般公開で行います(定員:50名)
- ◇会場: 分水福祉会館(燕市)
- ◇懇親会: 16:15~「割烹・仕出し かねこ」
会費 6,000円
- ※正会員の皆様には各詳細を別途お知らせします。

運営員の皆様へ

令和8年度 第2回ガイド研修を開催いたします。運営員の方の出席をお願いします。出欠のご連絡は事務局へお願いします。

- ◇日時: 令和8年6月6日(土)9:30~10:30
- ◇場所: 信濃川大河津資料館2階多目的ホール
- ◇研修内容: 館内の非常口、非常ベル、消火器の位置を確認後、避難・通報訓練と消火訓練

クリーン作戦・庭木剪定にご協力ください

- 大河津資料館周辺のゴミ拾い、資料館の庭木の剪定とプランターの植え付け作業を行います。ご協力いただける会員の方は事務局へご連絡ください。
- ◇日時: 令和8年6月6日(土)10:30~12:00
 - ◇集合: 信濃川大河津資料館
 - ◇持ち物: 手袋、レジ袋、トング
剪定道具がある方はご持参ください。

イベント案内

資料館周辺施設巡り

信濃川大河津資料館の周辺を巡る『大河津分水 資料館周辺施設めぐり』の夏のご案内です。大河津分水の歴史・役割を学びながら一緒に歩きませんか♪お申し込みは事務局へご連絡ください。(事業部)

初夏の大河津分水歴史探訪～新旧洗堰～(約1.5km)

- 信濃川の水量を調節している洗堰を中心にご案内します。
- ◇日時: 令和8年6月7日(日) 10:00~11:30
 - ◇定員: 15名程度
 - ◇参加費: 無料

初夏の大河津分水歴史探訪～新旧可動堰～(約1.5km)

- 大河津分水の水量を調節している可動堰を中心にご案内します。
- ◇日時: 令和8年6月21日(日) 10:00~11:30
 - ◇定員: 15名程度
 - ◇参加費: 無料

- *天候等の状況により、コース内容・見学場所が変更になる場合があります。
- *動きやすい服装、靴、雨天時の雨具(傘・カッパ等)の準備をお願いします。
- *水分補給は各自でお願いします。



大河津分水公園の人工水路で川の生き物を捕まえて観察して学べる『水辺の生き物観察会』を開催します。毎年人気のイベントです。お申し込みお待ちしております。(事業部)

◇開催日：令和8年6月27日(土)・7月26日(日)・9月27日(日)

◇時間：9:00~10:30

◇定員：各回20名程度(定員になり次第締め切ります)

◇参加費：無料

◇集合：信濃川大河津資料館

◇場所：大河津分水公園 体験水路

◇持ち物：魚捕りの網、バケツ等、水分補給の飲み物

◇服装：濡れても良い服装、運動靴もしくは脱げないサンダル、帽子

◇申込締切：各日開催の5日前までに事務局(080-9876-3673)へお申し込みください。

※小雨決行。天候により中止になる場合は前日までにご連絡します。



昨年の様子

信濃川大河津資料館インフォメーション

「大河津分水通水・竣工100周年記念碑」建立

大河津分水完工から100周年を記念して、長きにわたり洪水を受け止め続けた第二床固のバツフルピアを利用した石碑が建立されました。大正11(1922)年8月25日通水、大正13(1924)年3月23日竣工。大河津分水通水から100年、竣工から100年の記念に大正13(1924)年に建立された『信濃川治水紀功碑』の隣に新たな石碑が加わりました。3月23日(月)に除幕式が行われ、友の会からは岡村理事長が出席しました。友の会は石碑のプレートを寄贈いたしました。正面プレートの文字は友の会名誉会員である小林 清 氏より揮毫していただきました。石碑の台座には現洗堰の表面を覆う桜御影石を使用し、台座前面の下には大河津床留撤去時のコンクリート魂を使用しています。それぞれの石の風合いと違いを感じることができます。この記念碑は資料館前にありますので、お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。



正面プレートの文字は友の会名誉会員である小林 清 氏より揮毫していただきました。石碑の台座には現洗堰の表面を覆う桜御影石を使用し、台座前面の下には大河津床留撤去時のコンクリート魂を使用しています。それぞれの石の風合いと違いを感じることができます。この記念碑は資料館前にありますので、お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。

魚道観察室の開放

令和7年12月1日(日)より、積雪等の影響があることから冬季間閉鎖していた洗堰の魚道観察室が一般開放されました。場所は左岸下流側です。洗堰の地下3階まで降りると右写真の観察室があり、川と海を行き来するアユやサケなどの回遊魚のほか、ウグイやオイカワなど信濃川中流域に住む魚を観察することができます。エレベーターはなく階段のみになります。

◇期間：令和8年4月1日(水)~11月30日(月)

◇時間：9:00~16:00

※洪水や悪天候などにより予告なく閉鎖することがあります。

※水が濁っている場合など、魚の姿が見えない場合があります。



画像：信濃川大河津資料館HPより



河川協力
団体



流域治水オフィシャル
サポーター



NIPPON
防災資産

随時
募集中

友の会会員の皆様へ

資料館ガイドを一緒にしませんか？

資料館に来られたお客様に大河津分水の魅力を伝えるガイドをしてみませんか？大河津分水について学びながら、一緒に盛り上げていただける方を大募集しています。未経験の方でも大丈夫です。研修をしながら徐々に慣れていただきます。ちょっとでも興味がある方は事務局へご連絡ください。1回/月から調整させていただきます。

【事務局連絡先】

〒959-0123 燕市大川津1215-7

【TEL】080-9876-3683(事務局)

【FAX】0256-97-3682

【Mail】ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp

【ホームページ】https://ohkouzu-tomo.org/

【Facebook】

https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/



友の会HP